

1 福富小学校のスクールバス 政策決定の透明性が必要では

(総合計画 第4章第1節)

町 長

教育長

スクールバスについて、本年9月議会において福富小学校は条例・規則で対象でないことを指摘し質問したが、「教育委員会で議論し、条例・規則は誤解を招く表現だが福富小学校も対象」との答弁があった。

しかし、議会後の教育委員会において、事務局は福富小学校をバス対象とする規則改正を提案したが、教育委員全員が「制定時に福富小学校も対象とは認識していなかった」旨の発言があり規則改正は取り下げた。

- (1) 条例・規則は、制定者である教育委員が福富小学校をスクールバスの対象としておらず、規定上も福富小学校を対象としていない。

事務局は、教育委員会で議論もなく福富小学校をスクールバスの対象にし、条例・規則もバス対象であると事実と違う答弁をする必要が生じた原因は何か。

- (2) 教育委員会にスクールバスの規則改正が提案されたが、制定改廃理由は「福富小学校が再編に含まれないとの誤解を招く表現のため」のみを理由とし、齟齬が生じているバス対象者を「学校の再編に伴い遠距離通学となった児童及び生徒」とする部分を改正理由にせず提案がされていた。規則改正は、教育委員に論点を的確に伝え議論すべきではないか。

- (3) 政策決定においてスピード感が必要だが、透明性のある合意形成も必要と考える。町長は、本件をどう考えるか。

2 続 地域（集落）役員の負担を軽くできないか

(総合計画 第2章第2節、第6章第1節)

町 長

教育長

近年は、人口減や高齢化、就業状況の変化により、地域の役職の成り手が少なくなっている。

そこで、本年9月議会で、地域コミュニティを維持していくために、社会変化や意識変化に合わせた役職や行事の見直しが必要と提案した。

- (1) 駐在員・自治公民館長や民生委員は、町行事の案内が多く負担になっている。負担軽減を協議していくとの答弁だったが、来年度予算要求にあたり各課は具体的にどの様な協議がなされたか。
- (2) 民生委員の選出が地域任せになっているが、選出が困難なところがある。選出方法の見直しを提案したが、地域に投げ掛けたままの答弁だった。積極的に関わらないと前進しないのではないか。

1 魅力ある豊かなまちづくりを（総合計画 全般）

町 長

今年度に策定される第4次白石町総合計画については、順調に総合計画審議会も開催され素案も作成されている。7つにわたる基本目標の重点施策や、その目指す方向性については、本町の現状と課題を網羅していると思われる。魅力ある豊かなまちづくりにつなげていけるよう大いに期待をしているが、計画策定とその実行に向けた町長の考えを問う。

- (1) 計画策定の基礎資料とするために、町民へアンケート調査をされたと承知しているが、町への満足度やニーズはどうであったと把握しているのか。（年代ごとの主な意見）
- (2) 本町の魅力発信については、町民へものみならず外部への発信力もまだ課題が多いのではないのか。各世代へどのような手段の発信が効果的と考えているのか。
- (3) 本町の基盤産業である農業で生産される農産物は、本町が誇る一番の魅力であると思われる。稼げる農業と担い手確保の対策の充実が本町の将来を左右するのではないのか。農作業の在り方も時代の変化とともに大きく変化してきているが、担い手がやりたいことを町はどのような施策で支えていこうと考えているのか。
- (4) 近年は米価やタマネギ価格の高騰により、農家所得も増加し大型機械や大型倉庫の整備など、農家も投資意欲が高いと感じている。これらのことにより町への税収増加も期待され、これまで手の届かなかった事業にも取り組むことができるのではないのか。
- (5) 第4次白石町総合計画では「人と大地がうるおい輝く豊穡のまち」の実現に向けて、町長の思いと特に力を入れていく施策を問う。